新見市地域公共交通会議　平成２２年３月１２日設置

概　要

新見市は、平成17年3月31日に旧新見市、旧大佐町、旧神郷町、旧哲多町、旧哲西町の1市4町が合併し、新しい新見市として発足しました。市内には事業者の運行する乗合バスと、市の運行する市営バスが走っています。また、それらが運行していない地域において、市営により小型車両で集落と最寄りの医療機関を結び概ね週一便、医療機関への輸送を主目的として運行している「ふれあい送迎事業」があります。しかし、補助制度の改正に加え、学校再編に伴う通学利用を兼ねた系統の新設等により路線バスに対する市の財政負担が大きく増加しています。また、広域に点在している公共交通不便地域に暮らす住民の移動に対する不安解消の声も多くあり、対応が待ち望まれております。

本調査では、実態調査やアンケート調査の分析を行って、利便性が高く、効率的で地域の実情に即した公共交通サービスを構築していくための連携方策を検討して、新たな交通体系の確立を目指します。

○地域公共交通の現況

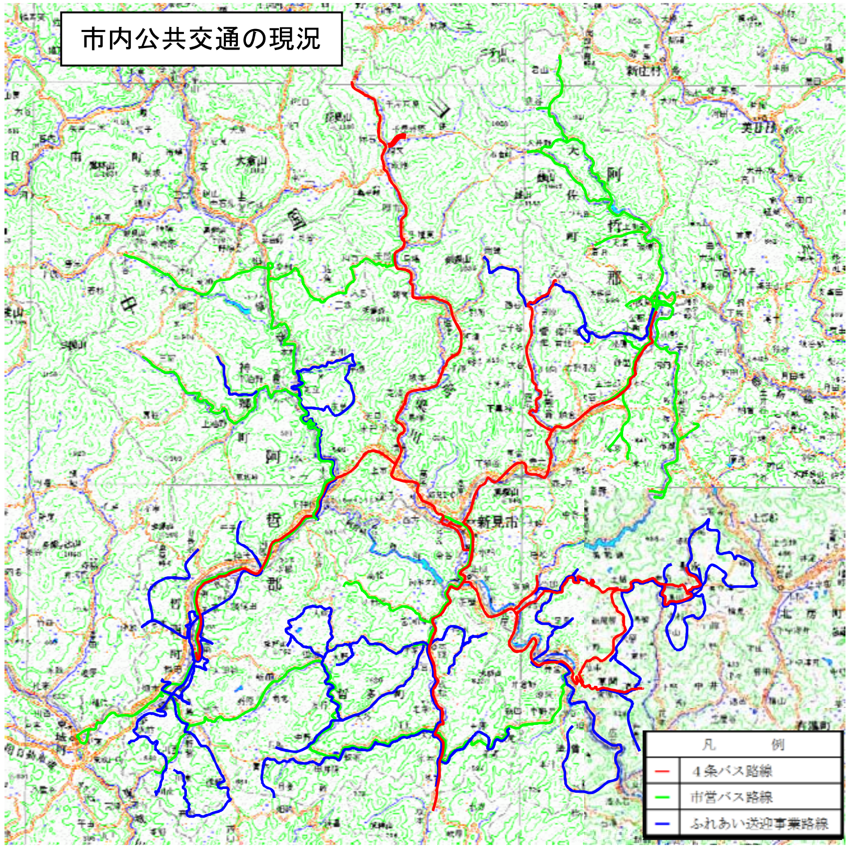
- 鉄道：JR伯備線、芸備線、姫新線（駅数13駅）
- 4条バス路線：備北バス（21系統）
- 市町村有償運送：
  - 市営バス（運行地域：4地域、14系統）
  - ふれあい送迎事業（運行地域：16地域、21系統）
- その他：スクールバス

○地域公共交通の課題

- 民間バス路線維持に対する補助等財政負担の増加
- 交通不便地域における交通手段の確保

○調査の主な内容

- 現況交通実態調査
- 利用者ニーズ把握調査（アンケート調査）の分析
- 総合連携計画の作成

○地域公共交通総合連携計画の構想（予定）

- 路線バスの再編検討
- デマンド型交通の導入検討